

日学アンケート所感

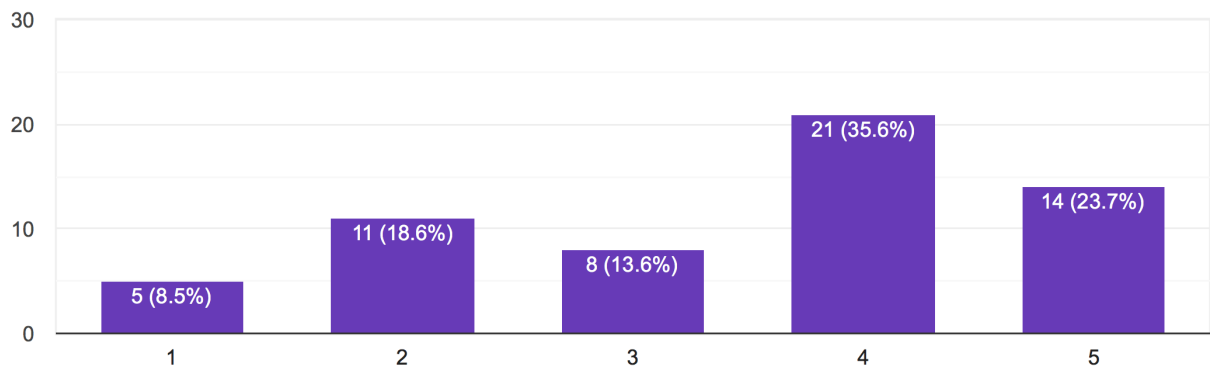
幹事長:谷野文史

1.インカレで重視すべきは？

非常に曖昧な質問であったと反省しているが、聞きたいことはインカレにおいて最重視すべきなのは競技性なのかみんなが納得することか？という非常に曖昧なところだったので仕方がなかったと思う。結果としては、インカレに関してはやや「みんなが納得いく」ことを重視しているように感じた。「どちらかといえば」という表現の方が正しいのかもしれない。

インカレで重視すべきは？

59件の回答

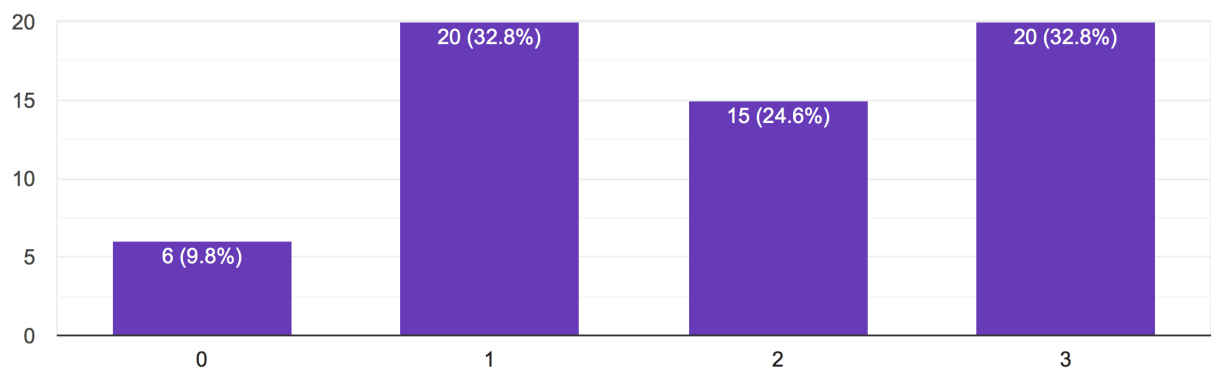


2.重み付け

こちらでも重要性という曖昧な表現としたため、意図がうまく伝わらなかった人が一定数いたように感じる。説明にも記したように、他の検討要素との相対性を図るものであった。

2-1.リスク

リスク
61件の回答

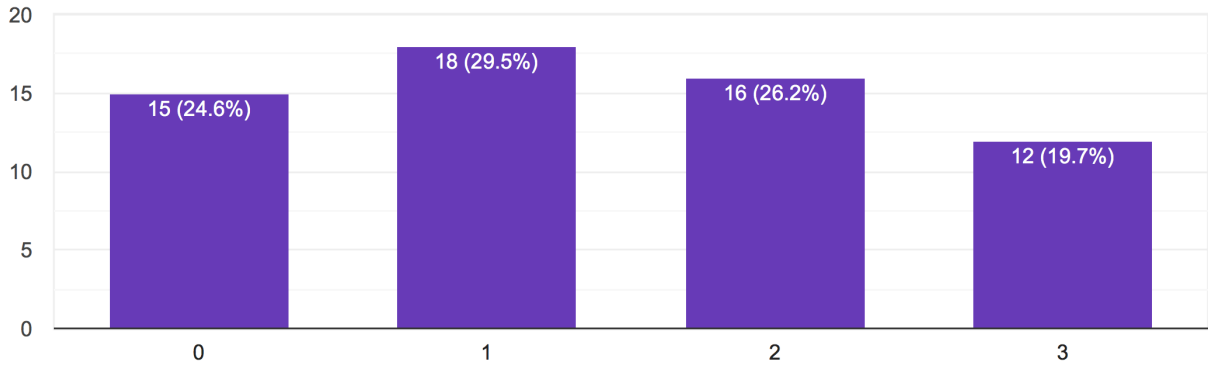


練習の不十分による競技リスクはかなり重要視されているように感じた。コメントにもあるように、安易に 1:10000 だから大丈夫と考えるのではなく、コース距離・難易度等の調整(主にセレクション)が必要であると考えます。

2-2.練習機会不平等性

練習機会平等性

61件の回答

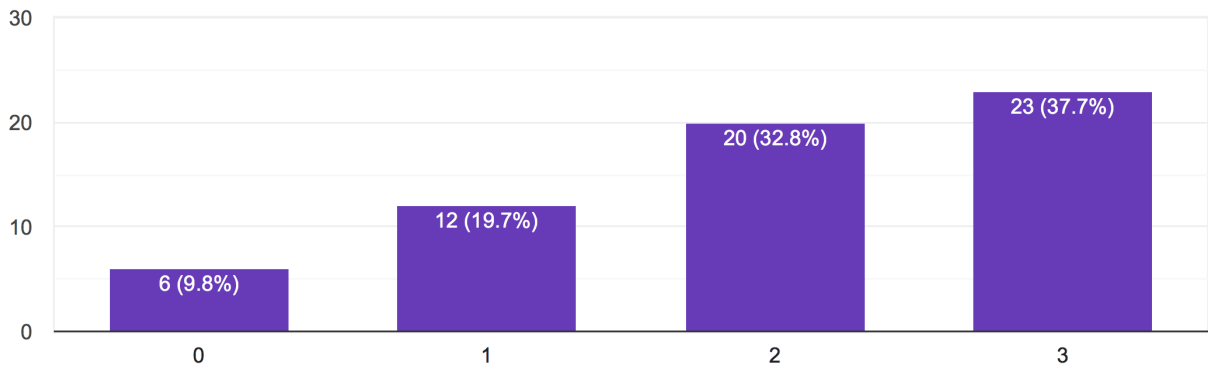


もっとも意見にばらつきが生まれた。その時点でのチャンピオンを決めるのがインカレであるのだから練習機会の公平性は考えなくて良いのではないかという意見があったり、練習機会の不平等があるのでセレクションにこだわることに疑念を持つ人がいることがわかった

2-3.インカレ選手権の特別感

インカレ選手権クラスの特別感

61件の回答

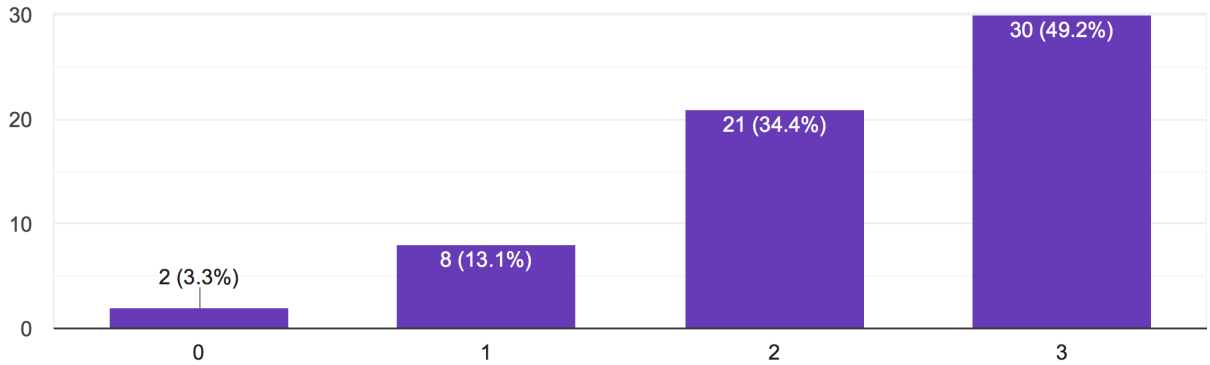


右上がりとなった。予想と異なり選手権の特別感を重視する声が多かった。特別感があるからこそ、インカレに向けて頑張ることができる、選手権クラスがあるからこそインカレに意味があると考えている人は多いのだろう。

2-4.運営キャパシティ

運営キャパシティ

61件の回答

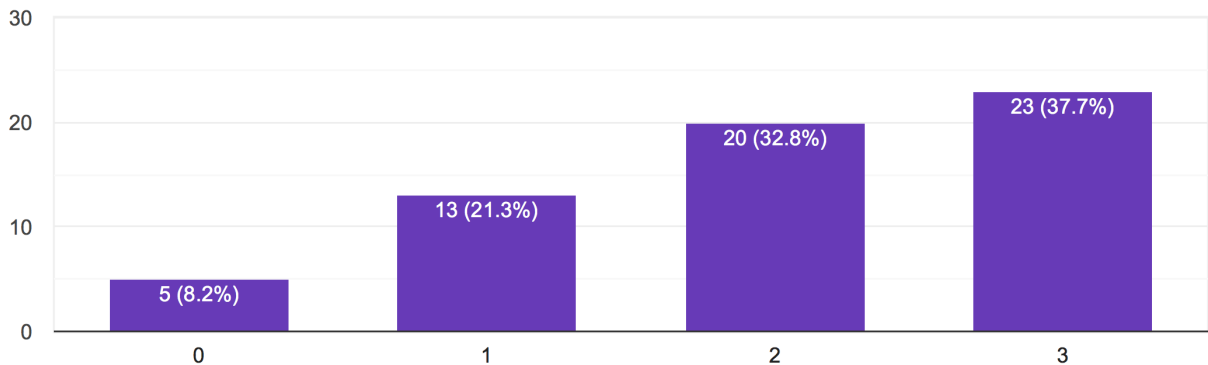


これに関しては質問意図が自分自身でもクリアになっていなかったもので、少しミスクエスチョンだった。平等性や競技性の議論も必要だが、運営できるかどうか？という根本的なところが大切だということはしっかりと意識したい。

2-5.翌年度の枠ふり

翌年度の枠ふり

61件の回答

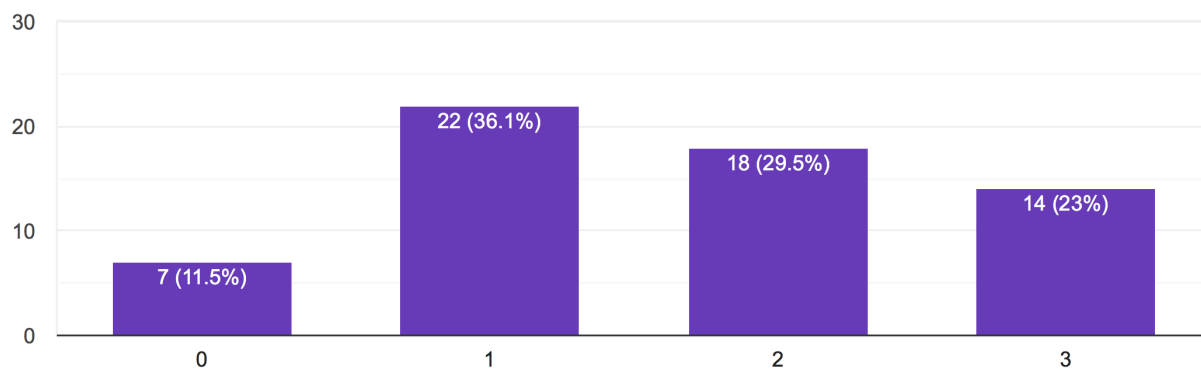


回答層が3年生が多かったのでこうした偏りになったのではないかと考える。もちろん翌年度の枠ふりは大切であり、今回の特別状況下のインカレにおいて問題が生じるのであれば枠を融通することも大切である。

2-6.選手権競技性

選手権競技性

61件の回答

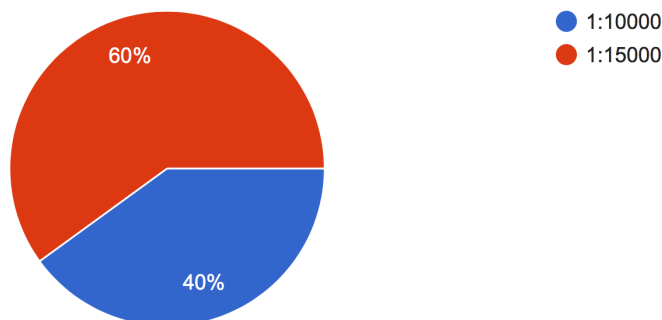


選手権競技性に関しては、こちらの予想より1に中心がきていた。今回の場合は止むを得ないという意見と、どうしても選手権としての質を落として欲しくないという層に分かれた。

3.縮尺について

縮尺をどうすべきか？

60件の回答



概ねイーブンに近いような状態になった。2年生からは 1:10000 意見が多く、他の学年からはセレクションに通るぐらいであれば 1:15000 でも大丈夫であろうという意見がありました。

4.幹事長として

今回、様々な加盟員の方に回答していただき「インカレ」や「セレクション」について色々と思いを持っていていっしょにすることがわかり、非常に参考になりました。ありがとうございます。今後幹事会でアンケートをもとに話し合い、幹事会としていくつかの案を提示し加盟校の皆さんにその案の中から選択して頂くことを想定しております。そのため、各校議論をして頂く機会を設けて頂くこともあるかと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ここからは、幹事長としてというよりも個人的に感じたことを述べます。回答者の属性として、選手権出場者の回答が非常に少ないと感じました。「みんなで作り上げる」インカレだからこそ、選手権出場選手には(もちろんこれは加盟員全体もですが)、インカレをよりよいものにしていく責任があると思います。なので、ぜひ意見を発信していただければと思います。

【資料 2-1】 インカレ提案書

	A案	B案	C案
概要	セレクションの開催・不開催にかかわらず例年通りのインカレを開催する	セレクションに不公平性があることを前提として、諸事情によりセレクションで漏れてしまった有力選手の自己推薦による選考を行う日学枠を設ける。	過去の成績等一定の選手権出場基準を満たす者による、出場クラスの自己推薦とする。
補足	セレクション不開催の場合は各地区学連で定められた方法に従って選手権出場者が決定される。	<p><自己推薦基準></p> <p>※番号は優先度を表す</p> <p>※同一種目を参考とする</p> <p>1.前年度インカレSL ME40位以内/WE20位以内</p> <p>2.前年度インカレSL ME・WE出場</p> <p>2.前年度インカレSL MF・WF各クラス3位以内</p> <p>2.前年度インカレSL MUA・WUA各クラス3位以内</p> <p>3.2019年4月以降の大会において</p> <p>スプリント</p> <p>男女最上位クラス(男子40名以上・女子20名以上参加)の上位3名平均タイム110%以内を3回以上達成</p> <p>ロング</p> <p>男女最上位クラス(男子40名以上・女子20名以上参加)の上位3名平均タイム130%以内を2回以上達成</p> <p>その他クラス(男子40名以上・女子20名以上参加)の上位3名平均タイム115%以内を2回以上達成</p> <p>4.その他</p> <p><枠数></p> <p>男子10枠程度 女子5枠程度</p> <p><選考方式></p> <p>技術委員会による選出</p>	<p><選手権出場基準></p> <p>※同一種目を参考にする</p> <p>1.前年度インカレSL ME40位以内/WE20位以内</p> <p>2.前年度インカレSL MUA・WUA各クラス3位以内</p> <p>2.前年度インカレSL MF・WF各クラス3位以内</p> <p>3.2019年4月以降の大会において</p> <p>スプリント</p> <p>男女最上位クラス(男子40名以上・女子20名以上参加)の上位3名平均タイム110%以内を3回以上達成</p> <p>ロング</p> <p>男女最上位クラス(男子40名以上・女子20名以上参加)の上位3名平均タイム130%以内を2回以上達成</p> <p>その他クラス(男子40名以上・女子20名以上参加)の上位3名平均タイム115%以内を2回以上達成</p> <p>4.その他</p> <p><出場人数></p> <p>規定通り</p> <p><選考方式></p> <p>技術委員会による選出</p>
セレクションの扱い	セレクションを基準に選考する	セレクションを基準に選考する	セレクションはないものとする(地区インカレとしては残す)
リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・セレクションがあることにより、大学からの規制がある中クラブ単位で練習会等に参加してしまう恐れがある。 ・練習不十分なままセレクションクラスに参加することでケガや未帰還等のリスクが考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権レベルにない選手を選んでしまい、ケガや未帰還等のリスクが考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合わないクラスを選択することにより、ケガや未帰還等のリスクが考えられる
練習期間平等性	各校練習解禁の時期のズレがある一方セレクション日程は単日であるため、8月9月では明らかに練習期間の不平等が生じる。	平等性を完全に担保する訳ではないが、セーフティネットを設けることで少しでも不平等の解消に繋げる	クラス自己選択の期間まで、練習や様々な大会に出場することで自分の実力を認識し、適切なクラス選択につなげることができる。
選手権競技性	概ね例年通りであるが、今後の練習機会の状況を見て距離・難易度調整を行う。		選手権クラス希望の人数によっては、運営のキャパシティの観点から距離や難易度等調整の入る可能性がある。
翌年度枠	例年通り	日学枠の学連バランスもあるが、枠内(男子30位、女子15位)の選手の様相に大きな変化があることは考えにくい	選手権参加者数の増加により、人数の多い学連が枠を取りやすい状況が生まれることが推測される。
観戦性	例年通り	概ね例年通り	選手権出場人数によっては、観戦性が損なわれる可能性がある。
選手権クラスの特別感	例年通り	概ね例年通り	自己推薦のため怪しい
縮尺	<p>現在、2年生の練習不足により1:15000に対応できないことが想定されている。</p> <p>これにより、上級生との公平性やリスクの観点から1:10000で開催してはどうかという議論を行っている</p> <p>このため本件に関しては別途決定する。また、インカレで1:10000が採択される場合は各地区セレクションにおいても1:10000での開催を要請する。</p>		
運営的実現性	可能	概ね可能 スケジュールの見直しは必須	選手権出場希望人数が多い場合は難しい スケジュールの大幅な組み直しが生じる
スケジュール	9/25までに選手権登録	9/15までに自己推薦者は提出 9/24までに選考	9/7までに自己推薦提出 9/24までに選考

日本学連主導の新人向け How To 動画についての提案書

作成日:2020年6月17日

文責:佐藤珠穂

1. 概要

日本学連主導で新人及び初心者向けのオリエンテーリング HowTo 動画を作り、公開する。山に入ることが難しい、または山に入って一人でオリエンテーリングをするのが怖いという段階の層に向けてオリエンテーリングについてではなくオリエンテーリングのやり方を解説する動画を作ることで定着や実力向上を狙う。

2. 狙い

2-1 新型コロナウイルス流行の影響で思うように新歓ができず、新歓や新入生に割ける時間が少ない上級生の指導の負担を減らす。

これはインカレや主要な大会までの期間が短い中で後輩育成と上級生の練習機会の両立が難しくなっている現状に対する対応策(家やオンラインでの指導が容易になる)である。

2-2 山に入る機会が制限される中で現地と地図の対応に関して視覚的に指導し、また学ぶことを助ける。

これは新型コロナウイルス流行の現在に関してのみの話ではなく、経済的または地理的、心理的な理由で山での練習に参加することを躊躇する層に対してのアプローチになると考えている。

あまり練習に参加できていない等の理由で「公園や先輩と一緒に回るならいいが、山を一人で回るのが怖い、自分の読図能力に自信がない」として新歓期間が終わり山での一人練習がメインとなると練習への参加ハードルが高くなると考える層がいるが、机上で山でのオリエンテーリングを疑似体験できればそのハードルを下げることができるのではないか。

2-3 大会参加後の復習教材として利用し、競技力の底上げを図る。

現在オリエンテーリングの新人向けの動画としてはオリエンテーリングの紹介やオリエンテーリングクラブの紹介動画がほとんどであり、上級生向けや E クラスレベルの追走動画等は速度や技術の点で参考にしづらい事がある。また、報告書等に掲載されるコース解説では新人コースの解説は省かれたり簡素で復習の参考にならないという現状がある。つまり、現在新人の大会後の復習は上級生に付き合ってもらい必要があり、そういった先輩がいなかったりまたは協力を仰ぎづらい場合復習が十分にできない可能性がある。そうした場合の解決策として機能するのではないか。

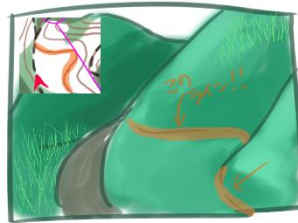
⇒結果的にオリエンテーリング界の振興につながるのでは

3. 詳細

インカレや大規模大会などの新人クラスレベルのコースの解説動画を製作する。追走動画または走者の視点カメラでの動画として、解説しながらコースを最善(と設定者が考える)ルートで進んでいくものとする。あくまでも解説動画のため基本的には走らず、地形や特徴物を映して解説していく。簡単なラフ画を付けるので参考にしてください。



音声「小径をY字状の分岐まで道なりに走っていきます。地図上では今走っている小径の右手に等高線の間隔が急に変わっていますね。オレンジのマーカ一を引いた部分です。」



音声「現地だとこのようになっています。一旦地図を移動しますね。地図と同じ部分にオレンジのマーカ一を引いています。傾斜が急に変わっていることが分かりますね。等高線が詰まってきて、この傾斜変換のラインが分からなくなるあたりで小径が分岐するということが読み取れていれば、不安にならずにスピードを出せるはずですよ。」

② コース走り(歩ま?)の
説明



←レックの
説明の
場面



...etc

撮影者や走者役が解説しつつ進んでも、音声は別録りや字幕で対応してもいい。(どれが効果的かはいまいわかりませんが、音声+字幕で解説できるといいと思う)

主に動画内では、

- ・コース/レックごとの意図や課題
- ・レックごとのCPや見るべきもの、見えるもの、見えた方がいいもの、見えるが見なくてもいいもの
- ・ミスしそうな箇所と原因、対策
- ・このコース/レックを早く走るために必要なもの

(・可能なら上位走者のコース図とか)

などを解説していく。

4. 課題

- ・動画を誰が撮るのか

→日本学連から運営団体に依頼し、試走の際などに撮ってもらう。その点を考えると、動

画と一緒にレッグの意図や撮った CP などを教えてもらい、音声は別録りで日学側(もしくは編集を依頼する場合編集者)が入れるという方法をとるべきかもしれない。

もしくは

→日学幹事が参加した大会でレース後などにトレインに入らせてもらい、撮る。

・動画撮影を依頼するとして報酬はどうするか

→音声なしの動画撮影のみであれば、新人クラスであることも加味し、2本(MF と WF を想定)で 5000 円～7000 円程度か。10000 円だと少し多い？相場がわからないので相談したい。

→編集を依頼する場合、一本当たり 5000 円程度か？こちらも相談したい。日学幹事がやるにしても兼務ならばある程度報酬が必要か。

→予算としては多くても 1 本 1 万円以内には収めたいだろう。

・どの大会を対象にするか

→日学が主導するならばインカレと学生大会などか。必ずしも新人向けとせず初心者向けと銘打ち、JOA に協賛を求められるならば全日本大会なども考えたい。

5. その他

将来的には「地図表記とデフについて」「はじめての大会参加」「オリエンテーリングに必要な装備・あるといい装備」とかも作れるといい？(参考：京都大学オリエンテーリングクラブの YouTube チャンネルより『【未経験者向け】オリエンテーリング講座初級編』シリーズなど)